

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（水環境整備事業）					
地区名	大江川2期地区					
事業箇所	一宮市					
事業のあらまし	<p>一宮市東部を流れる大江川は、二級河川蟹江川の上流に位置し、基幹的な農業用排水路として、地域農業の発展を支えており、古くから地域住民の身近な水辺空間として親しまれてきた。</p> <p>しかしながら、近年の急速な都市化の進展により水路周辺の環境は悪化しており、地域住民の環境意識が高まる中、水路改修に併せた水辺環境の整備が強く求められていた。</p> <p>このため、本事業では国営総合農地防災事業新濃尾地区による水路改修に併せ、自然や農村景観等に配慮した周辺整備を行い、都市と、農村の調和した景観形成を目的として平成18年度から水環境整備事業を実施し、平成23年度に完了した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>大江川周辺の水辺環境を整備し、地域住民の余暇活動の場、潤い、安らぎ、憩いの空間として広く開放することにより、農業水利施設に対する地域住民の関心を一層深め、住民参加による施設の保安全管理活動や都市と農村の交流活動を促進し、地域社会の活性化を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	4.7億円		■工事費 3.9億円、口用補費 億円、■その他 0.8億円			
事業期間	採択年度	平成18年度	着工年度	平成18年度	完成年度	平成23年度
事業内容	親水・景観保全施設（親水広場他）1式、利用保全施設（遊歩道他）1式、生態系保全施設（植栽他）1式					
II 評価						
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>遊歩道、休憩施設、親水広場等を整備したことにより、施設の利便性が向上し、水辺散策やウォーキングをするなど、地域住民の活動の場、潤い・安らぎの空間となっている。</p> <p>遊歩道や親水広場等施設の維持管理については、地域住民や市による草刈や清掃等が随時行われ、適切に管理されている。</p> <p>また、住民、企業、行政等からなる地元の環境団体を主体とする活動も実施されており、地域住民だけでなく一般市民が集まる大江川の清掃活動が毎年行われている。（平成28年度約800名参加）</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>遊歩道や親水広場が、地域住民の憩いの場や交流の場として活用されるようになり、地域住民が農業水利施設に対し関心を深めるとともに、地域社会の活性化を図ることができた。</p> <p>また、地域住民及び一般市民参加の清掃活動など地域活動を通して、住民参加による施設の保安全管理や、都市と農村の交流活動が促進された。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。					
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。					
同種事業に反映すべき事項	今後ともよりよい整備を行うには、地域住民との意見交換を通じて、地域の体制や特性を反映し、地域の状況に即した整備が必要である。					